

2024年度 西日本記録会（博多の森） 競技注意事項

1. 本大会は、2024年度日本陸上競技連盟規則により行う。
2. 招集について

	招集開始時間	招集完了時間
トラック競技	競技開始 30分前	競技開始 15分前
フィールド競技	競技開始 60分前	競技開始 40分前

- ① 招集所は、本競技場正面玄関横に設ける。
- ② リレーのオーダー用紙は招集完了時刻の1時間前までに招集所に提出すること。
3. スパイクはオールウェザー用のピンを使用すること。長さは9mm以下とし、走高跳・やり投は12mm以下とする。
4. 跳躍競技のバーの上げ方について

中学男子走高跳	練習 1m30・1m55	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	以降3cm～
中学女子走高跳	練習 1m15・1m40	1m15	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	1m48	以降3cm～
一般男子走高跳	練習 1m80・2m00	1m80	1m85	1m90	1m95	2m00	2m04	2m07	2m10	以降3cm～
高校男子走高跳	練習 1m55・1m85	1m55	1m60	1m65	1m70	1m75	1m80	1m85	1m88	以降3cm～
一般・高校女子走高跳	練習 1m30・1m50	1m30	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	1m58	1m61	以降3cm～
一般・高校男子棒高跳	練習 2m80・3m40・4m20	2m80	3m00	3m20	3m40	3m60	3m80	4m00	4m10	以降10cm～
中学男子棒高跳	練習 1m80・2m40・3m00	1m80	2m00	2m20	2m40	2m60	2m80	2m90	3m00	以降10cm～
一般・高校女子棒高跳	練習 1m80・2m40・3m00	1m80	2m00	2m20	2m40	2m60	2m80	2m90	3m00	以降10cm～

※気象状況等により変更することもある。

5. 三段跳の踏切板は砂場から次のように設置する。
一般男子：12m 高校男子：11m 一般女子：10m 高校女子：9m
6. 投てき競技者で滑り止めを使用する選手は各自準備すること。
7. 持参のやりについては検査に合格したものは使用を認める。検査は当該競技の招集開始時刻30分前から招集開始時刻まで第4ゲート用器具庫前で行う。
8. 投てき種目出場者は、事前練習も含め審判員の指示に従い、事故のないよう留意すること。
9. 投てき練習場は2日目のみ開放し、一般・高校女子、中学男女の円盤投に出場する選手のみ使用することができる。
10. 長距離種目については、競技の進行上、スタート後の制限時間を経過した場合はレースを打ち切るため、競技役員の指示に従って競技を中止すること。
中学男子3000m・一般高校女子3000m → 14分
一般男子5000m・高校男子5000m → 19分 一般女子5000m → 24分
一般・高校男子5000mW → 40分 一般・高校女子5000mW → 45分
11. 選手変更をする場合、変更する選手は申込時に名前を登録している選手（他種目またはオープン男女60mにエントリーをしている）に限る。招集所で選手変更の用紙を受け取り、総務の確認を受けて、**両日とも8:10までに招集所に提出すること。**
12. 棄権をする選手は、必ず棄権届けを提出すること。
13. TR. 4. 4については本大会は適用除外とする。
14. TR. 6. 4. 5について、コーン等で指定されたエリア（安全且つ競技運営に支障のない場所）では、各チームで準備したひもやかご等の道具を使って録画機器を受け渡しすることができる。ただし、安全には十分配慮すること。また、危機の破損等が生じた場合も主催者は一切の責任を負わない。なお、投げ渡しや身を乗り出している危険な状態での受け渡しは認めない。
15. 競技会中に発生した負傷及び疾病については、主催者において応急処置は行うが、以後の責任は負わない。
16. 主催者は競技者と審判員対象の傷害保険に加入するが、補償はこの保険の範囲内とする。
17. [個人情報取り扱いについて]
福岡陸協で定める個人情報に関する規定を了承し、出場するものとする。また、撮影に関する規定に従って、競技を運営する。
18. その他
 - ・競技場内各室は競技役員、本部役員以外の立ち入りは禁止とする。
 - ・フィールド競技を行っている際は、その付近での連呼応援等、競技の進行に支障の出る応援は禁止する。
 - ・選手の競技場所への入退場は、第1ゲート・第4ゲートからとする。トラック競技ではゴール後、速やかに第1ゲートシャッター外側へ退場をするようにし、ゴールエリアで休息等をしないこと。
 - ・ビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CDプレーヤー、トランシーバーや携帯電話もしくはそれらに類似した機器を競技区域内で所持または使用することはできない。（TR6. 3. 2）
 - ・本大会は**サイド及びバックスタンドで観戦することができる。**
 - ・駐車台数に限りがあるため、可能な限り公共交通機関の利用や乗り合わせでの来場をすること。